

日本共産党

4月9日川崎市議選

多摩区の市会は
あなたの一票を

赤石

ひろ子

市民によりそうやさしい市政へ

「国民健康保険料や介護保険料が高い」「子育てにお金がかかりすぎる」などの切実な声にこたえて、4年間市議会で働かせていただきました。川崎の豊かな財政力を大規模開発優先から、福祉・子育て支援に切り替えます。

32年間ジャーナリストとして社会を見つめてきました。生活基盤である基礎自治体だからこそ、市民の日々の暮らしを温める施策を手厚く。一人ひとりが大切にされ、だれもがいきいきと暮らせるまちづくりに力を尽くします。

あかいし 博子

プロフィール

1961年群馬県生まれ。県立前橋女子高校、立教大学文学部卒業。雑誌編集者32年。NHK「きょうの健康」などの編集に携わる。現在市議1期、まちづくり委員会委員長。

政令市トップの財政力を 子育て・福祉・くらし・営業に

公式LINE



赤石ひろこ

検索



<http://akaishi-hiroko.jp/>

証紙

